

# 日台フルーツ夏祭を開催

台北事務所 広報文化部

日本台湾交流協会台北事務所は、台湾の農業部、中華文化総会などの機関と協力し、8月26日（土）、27日（日）の2日間にわたって、総統府前の凱達格蘭大道で日台フルーツ夏祭を開催しました。2日間を通して、約9,000名の来場があり、盛況のうちに終了しました。写真とともに当日の様子を紹介いたします。



賑わう会場



日本のフルーツ

今年は20ブースが出展しました。今が旬のシャインマスカット、ぶどう、梨などの日本から空輸された新鮮なフルーツが並びました。それだけで無く、フルーツを使用したアイスやかき氷などのスイーツもあり、多くの方が涼を求めて美味しく味わいました。

また、今回、2022年2月に東日本大震災に伴う輸入規制が緩和されて以降、初めて福島県産の桃と千葉県産の梨が台湾にやってきました。福島県産の桃は、試食・販売され、用意された約100玉は数時間で完売しました。



福島県産桃 PR

## 2度目の開催

日台フルーツ夏祭は昨年到现在に続いて2回目の開催となります。昨年は、まだコロナ禍であり、さまざまな制約のある中での開催でしたが、日本が誇る高い品質のフルーツと、フルーツ王国台湾の多彩なフルーツを目当てに多くの方にご来場いただき、好評を博しました。今年は、より多くの方に日本のフルーツの魅力を知ってもらうため、会期を1日から2日に拡大して開催しました。

## 日本ブース

日本のフルーツを取り扱うブースの数も増加し、

## ステージイベント

会場を盛り上げるため、ステージ上では10組によるパフォーマンスが行われました。日本の文化である三味線や和太鼓などが披露されたほか、日台で活躍するアイドルや歌手、日台混成のバンドによるステージが行われ、日本文化に触れながら、楽しむ機会となりました。

また、日本から来た生産者や販売者もステージに上がり、自らが生産・販売する日本産フルーツのPRを行いました。



和太鼓演奏

## 台湾VIPも来場

陳建仁行政院長をはじめとする台湾の要人にも参加いただき、盛大に開会式が開催されました。また、1日目の夕方には蔡英文総統もサプライズで来場いただき、会場内を参観し、日台双方のブースに立ち寄り、フルーツなどを召し上がられました。



閉会式

泉裕泰台北事務所代表（中央右）、陳建仁行政院長（中央左）ら関係者



蔡英文総統来場

泉裕泰台北事務所代表（左）、陳吉仲農業部長（右）と一緒に参観